

北数教 “第 102 回数学教育実践研究会”

$e$  の値を求める

レポート

平成 29 年 8 月 5 日 (土)  
北海道小樽桜陽高等学校

千歳科学技術大学 安田富久一

高校の数Ⅲの教科書に  $e = 2.718\dots$  が書かれている。それを求めさせたらどうなるか考えてみた。高校の学習指導要領圏外ではあるが、高校の発展学習から大学教養程度の知識（テイラー展開）で可能であり、手計算または電卓レベルの機材で十分達成できるので紹介する。

【問題】

$e = 2.718\dots$  であることを示せ。

【解答】 テイラー展開を考える。

$$e^x = 1 + x + \frac{1}{2!}x^2 + \frac{1}{3!}x^3 + \frac{1}{4!}x^4 + \frac{1}{5!}x^5 + \frac{1}{6!}x^6 + \frac{e^\xi}{7!}x^7 \dots\dots\dots \textcircled{1}$$

となる  $\xi$  が  $0 < \xi < x$  に存在することになる。①で  $x = 1$  とすると、

$$e = 1 + 1 + \frac{1}{2!} + \frac{1}{3!} + \frac{1}{4!} + \frac{1}{5!} + \frac{1}{6!} + \frac{e^\xi}{7!} \dots\dots\dots \textcircled{2}$$

となる  $\xi$  が  $0 < \xi < 1$  として存在する。②より、明らかに

$$\begin{aligned} e &> 1 + 1 + \frac{1}{2!} + \frac{1}{3!} + \frac{1}{4!} + \frac{1}{5!} + \frac{1}{6!} \\ &= \frac{2 \times 6! + 6 \times 5 \times 4 \times 3 + 6 \times 5 \times 4 + 6 \times 5 + 6 + 1}{6!} \\ &= \frac{1957}{720} = 2.7180\dots \dots\dots \textcircled{3} \end{aligned}$$

である。次に、 $0 < \xi < 1$  より  $e^\xi < e$  であるから、②より次の不等式が得られる

$$\begin{aligned} e &< 1 + 1 + \frac{1}{2!} + \frac{1}{3!} + \frac{1}{4!} + \frac{1}{5!} + \frac{1}{6!} + \frac{e}{7!} \\ \therefore e &< \frac{7!}{7! - 1} \left( 2 + \frac{1}{2!} + \frac{1}{3!} + \frac{1}{4!} + \frac{1}{5!} + \frac{1}{6!} \right) \\ &= \frac{7! \times (2 \times 6! + 6 \times 5 \times 4 \times 3 + 6 \times 5 \times 4 + 6 \times 5 + 6 + 1)}{7! - 1} \\ &= \frac{13699}{5039} = 2.7185\dots \dots\dots \textcircled{4} \end{aligned}$$

③, ④ より  $2.7180\dots < e < 2.7185\dots$  なので、 $e = 2.718\dots$  が示された。 (証明終わり)

今の証明と同様にして、次の命題が成り立つことがわかる。

【命題】  $\sum_{k=0}^n \frac{1}{k!} < e < \frac{(n+1)!}{(n+1)! - 1} \sum_{k=0}^n \frac{1}{k!}$

【注】

ちなみに、教科書に書かれている  $e$  の定義式： $e = \lim_{n \rightarrow \infty} \left(1 + \frac{1}{n}\right)^n$  で、 $\left(1 + \frac{1}{n}\right)^n$  は単調増加して  $e$  に収束する。そこで、 $\left(1 + \frac{1}{n}\right)^n$  が  $2.718$  を越える  $n$  を調べると、 $n = 4822$  に到って漸くである。Maxima に単純に数値計算させてみると

$$\begin{aligned} n = 4821 \text{ のとき } & 2.717999961097746 \\ n = 4822 \text{ のとき } & 2.718000019542346 \end{aligned}$$

である。また、 $2.7182\dots$  と 1 桁精度を上げるためには、テイラー展開の方法であれば、べきを 1 つ増やして  $1 + 1 + \frac{1}{2!} + \frac{1}{3!} + \dots + \frac{1}{6!} + \frac{1}{7!}$  までとればよいが、 $\left(1 + \frac{1}{n}\right)^n$  だと、 $n = 16609$  に到って漸く  $2.71852$  を越える。